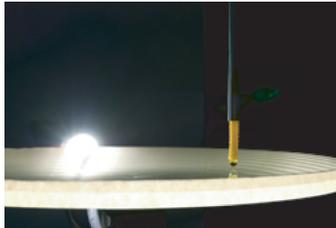


from/to #5

早川 祐太 HAYAKAWA Yuta

村岡 佐知子 MURAOKA Sachiko



早川祐太: COSMOS



村岡佐知子: electric

拝啓 平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。このたび、ワコウ・ワークス・オブ・アートでは7月16日(木)より、厳選された若手作家による展覧会プロジェクト「from/to」を開催致します。5回目となる今展では、それぞれ異なったメディアで制作する2名の作家をご紹介します。

早川祐太は、主に立体作品を制作する。自らを『現象の奴隷』であると言う早川は、重力や表面張力など普段意識することのない感覚や気配を視覚的に表現する。存在するが人間の知識が優れすぎていて感知できない現象を再構築し、アートとして提示する。繊細さを追求するようなその作品を前に、鑑賞者は感覚を研ぎすまされ、何かが生まれてくる状況を楽しむことができる。

「それは決して私が取り残されていっているという事ではなく何かに包み込まれていくような感覚に近い。凜とそこにいるはずなのにその所存が確認しきれないもの。対面しているのに背後から見つめられているようなそんな存在があるのかもしれない。彼らを生み出した私が彼らに包み込まれた瞬間、そこには何かで計れるような存在はなくなっているのだと思う。」

村岡佐知子のペインティングは、黒い画面にカラフルな色の断片がちりばめられている。軽やかな形は一見星のようでもあり、まがいのものの装飾物のようでもあり、しかしそれははっきりとした明確なイメージを持たず、それがマクロのものなのかミクロのものなのか大きさの感覚もない。しかしそのイメージは鑑賞者の記憶とつながり、純粋な平面性を見る人の記憶に働きかける。

「四角の枠の外の見えないところへ思考を向かわせる装置として絵画が機能すること、そうすることで少しはこのつかみよのない世界とそこに居る自分をわかることができるのではないかと考えています。」

早川 祐太 1984年岐阜県生まれ。

2008年武蔵野美術大学彫刻学科卒業。武蔵野美術大学修士課程造形学部彫刻学科在学中。

主な展覧会に「plastic trees/ceramic girl」(2008、CAMP/Otto Mainzheim Gallery、東京)、「アートプログラム青梅 — ポストシアター」(2008、青梅市街、東京)、「Re:Membering-The Next of Japan」(2009、Alternative Space LOOP、ソウル)、「"NO FUTURE", NO FUTURE」(2009、Art Center Ongoing、東京)

村岡 佐知子 1983年神奈川県生まれ。

2009年武蔵野美術大学修士課程美術専攻油絵コース卒業。主な展覧会に「理化学研究所展示プロジェクト」(2005、理化学研究所、横浜)、「浮遊(2人展)」(2006、みなとみらいギャラリー、横浜)、「SKIP!」(2007、Gallery Stump Kamakura、鎌倉)、「THE NEXT」(2008、Gallery Stump Kamakura、鎌倉)

会 場：ワコウ・ワークス・オブ・アート 新宿区西新宿3-18-2-101・103

会 期：2009年7月16日(木)- 8月8日(土) 11:00~19:00 日・月・祝 休み

オープニング・レセプション：7月16日(木) 18:00-20:00